

アシナガバチの巣を見かけたら

アシナガバチは怖い生き物ではありません！



アシナガバチは庭木などにつく毛虫などの害虫を食べてくれます。むやみに怖がる必要はありません。不用意に巣を刺激したり、触ったりしなければアシナガバチは攻撃してこないといわれています。晩秋には女王蜂以外は死んでしまいます。女王蜂は木のうろなど、暖かいところにもぐりこみ越冬します。そして、春になると、初めは女王バチ一匹で巣づくり、産卵、子育てをします。春から、夏、秋と、段々と働き蜂バチが増えていき、巣も大きくなります。

やむを得ず巣を取り除く場合

巣の場所が物干し場や玄関等の出入り口付近などにあり、刺される危険のある場合は、殺虫剤を使い次の方法で巣を取り除きます。用心のため、帽子をかぶり、長袖のシャツ等を着て、首にタオルを巻いておきましょう。

< 巣の取り方 >

- 1 夕方できるだけ暗くなってから行ないます。アシナガバチは夕方、巣にもどってきます。夜、気温が下がると活動が鈍くなります。
- 2 殺虫剤がかかったハチは明るい方に飛んでいきますので巣を挟んで、巣の向こう側に電灯などの灯りを置くとよいでしょう。
- 3 近くの窓を閉めて、洗濯物があれば取り込んでおきます。
- 4 巣にゆっくり近づき市販の蚊・ハエ用の殺虫剤(噴射力が強いものが良い)を巣に向かって10秒くらい吹きかけます。殺虫剤がいっぱいかかったハチはポトリと真下に落ちますので、巣の真下にはいないようにします。落ちたハチは素手で拾わないでください。
- 5 ハチがいなくなったら、棒などで巣を落としてください。土に埋めるか袋に入れてごみとして出してしまう。しばらくして、巣から離れていたハチが戻ってくることもありますが、そっとしておけばいなくなります。

保健所ではアシナガバチの巣の撤去は行っていません。

敷地内の巣を撤去する場合はご自分の判断で行って下さい。

問い合わせ

文京保健所 生活衛生課 環境衛生

5803 - 1227